器具器械９　汎用Ｘ線診断装置用非電動式患者台（40654000）
一般医療機器（特定保守管理機器・設置管理医療機器）

小児用立位専用撮影台 SA－PB1

取　扱　説　明　書

医療機器製造販売許可番号２７B３X０００６９

ご使用前に、必ずこの取扱説明書をお読み下さい。
お読みになった後は、装置の近くの見やすい所に、大切に保管して下さい。

三共医療機株式会社

目次

１．　概要

２．　構成

３．　仕様

４．　各部の名称及び機能

５．　操作方法

６．　保守点検

はじめに

このたびは三共小児用立位専用撮影台　SA－PB1　をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございました。本装置を正しくご使用していただくために、この取扱説明書をよくお読みの上、大切に保管して下さい。

適用範囲

このマニュアルは、小児用立位専用撮影台　SA－PB1　に適用する。

１．　概　　要

本撮影台は、X 線発生装置と組合せて立位姿勢で患者の胸部撮影を行う子供専用のリーダー撮影台です。

この撮影台は、被験者を撮影時に介助者を X 線被爆から防護し、また子供と介助者が覗き窓から笑顔で対面しながら少しでも被験者の不安感をやわらげながら介助できる防護衝立を備えた撮影台です。

２．構　　成

標準構成

１．三面防護衝立	1 式
２．カセッテボックス	1 式
３．パイプ支柱	1 式
４．生殖腺防護付鞍	１式
５．乳児吊り下げハンガー	1 式
６．臥位撮影天板兼安全保護板	1 式
７．懸垂滑車及び分銅	1 式
８．固定バンド	1 式

３．　性能（仕様）

１．三面防護衝立	
ａ．正面防護衝立	巾 750×高さ 1800（mm）　鉛等量　2.0mmPb
ｂ．側面防護衝立	巾 300×高さ 1800（mm）　片側のみ開閉式
ｃ．介助者覗き窓	巾 400×高さ　500（mm）含鉛ガラス 2.0mmPb
ｄ．介助者腕窓	巾 100×高さ　400（mm）含鉛ｺﾞﾑ布 0.5mmPｂ
２．カセッテボックス	大角又は大陸縦～六ツ縦横 トレイ引出方式バネ式自動上合せ機構
３．パイプ支柱	撮影中心　床上約 800～1500（mm）
４．生殖腺防護付鞍	床上 700～1200（mm）
５．乳児吊り下げハンガー	１才未満用乳児吊下げ着衣付　綿製
６．臥位撮影天板兼安全保護板	巾 700×奥行き 400（mm）木製
７．懸垂滑車及び分銅	カセッテボックスバランス用
８．固定バンド	巾 250×長さ 800（mm） マジックテープ固定式
９．　重　　量	約１８０kg

１０．使用環境条件

（1）温度　　　　１０～４０°Ｃ

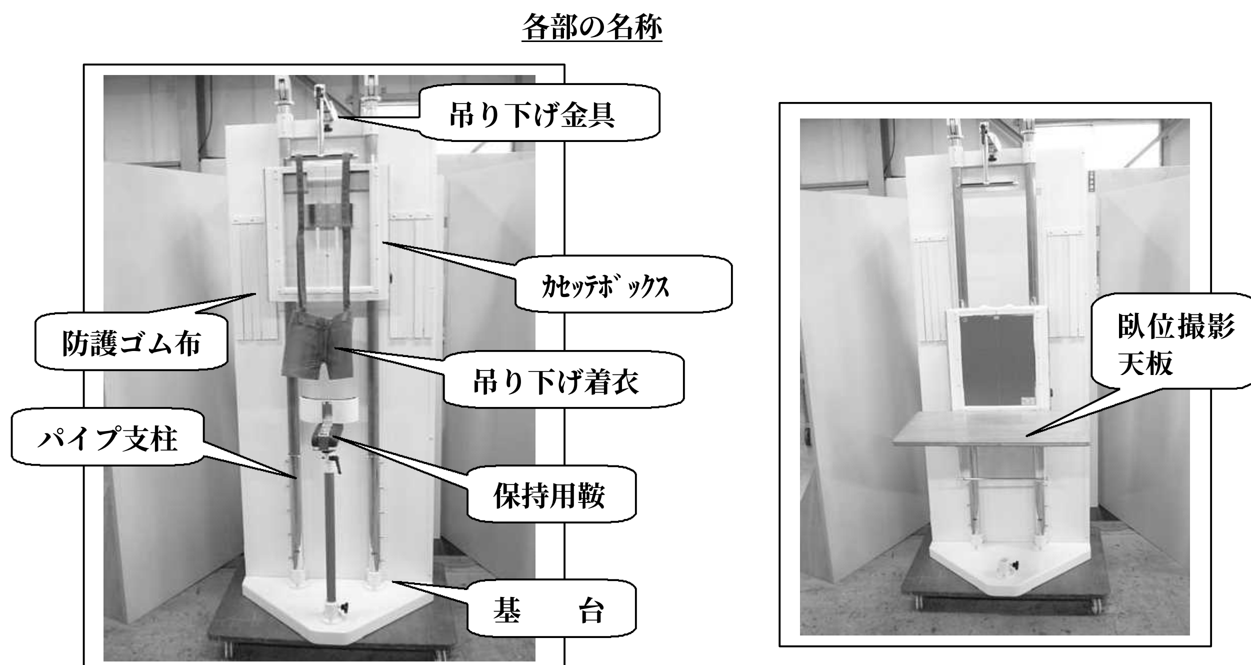
（2）湿度　　　　３０～８５%（結露しないこと）

（3）気圧　　　　７００～１０６０ｈｐａ

（4）その他　　　爆発性及び腐食性ガス環境での使用は避けて下さい。

４．　各部の名称及び機能

各部の名称



４．１　ａ．正面防護衝立　　　巾 750×高さ 1800（mm）　鉛等量　2.0mmPb

　　　　ｂ．側面防護衝立　　　巾 300×高さ 1800（mm）　片側のみ開閉式

　　　　ｃ．介助者覗き窓　　　巾 400×高さ　500（mm）含鉛ガラス 2.0mmPb

　　　　ｄ．介助者腕窓　　　　巾 100×高さ　400（mm）含鉛ｺﾞﾑ布 0.5mmPｂ

４．２　カセッテボックス　　カセッテ大角又は大陸迄の各サイズをセットできます。
カセッテは常に上合せになるようにバネで保持します。
受像部の固定は両サイドのノブ式ストッパー

４．３　パイプ支柱　　　　パイプ支柱で受像部が上下する構造です。
基台を床、壁に固定することなく支持する構造になっております。

４．４　生殖腺防護付鞍　　　患者を腰掛けて保持します。
前後と上下に位置調整が出来ます。
生殖腺防護板が付属しており、患者の生殖腺を防護します。

４．５　吊り下げ金具　　　吊り下げ着衣を取付します。
綿製で１才未満の乳児に使用します。

４．６　臥位撮影天板兼安全保護板　側面撮影時に被験者を横に寝かせて撮影します。又は、吊下げ着衣の準備用ベット、吊下げ着衣使用時の落下安全保護板として使用します。

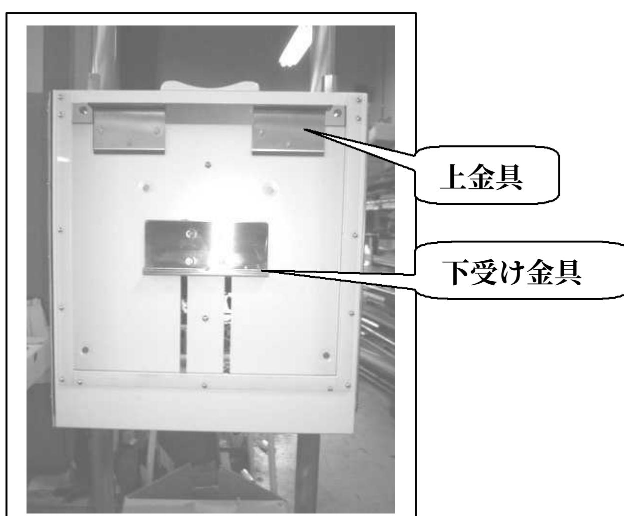
４．７　懸垂滑車及び分銅　カセッテボックスの重量バランスを保つ為に使用しています。ワイヤーは２mmのステンレスワイヤーを使用しています。

４．８　固定バンド　被験者の倒れ防止用にバンドで固定します。カセッテボックス側面にマジックテープにて固定します。

５．　装置の使用方法

５．１　カセッテの装填

受像部にカセッテを装填する場合は、トレイを引き出して下受け金具にカセッテの下面を載せて、上からカセッテの真中を押えて上金具に挿入します。
外す場合は、上からカセッテの真中を押えて上金具の引掛けを外して少し手前に起こして、カセッテを持ち上げて外します。

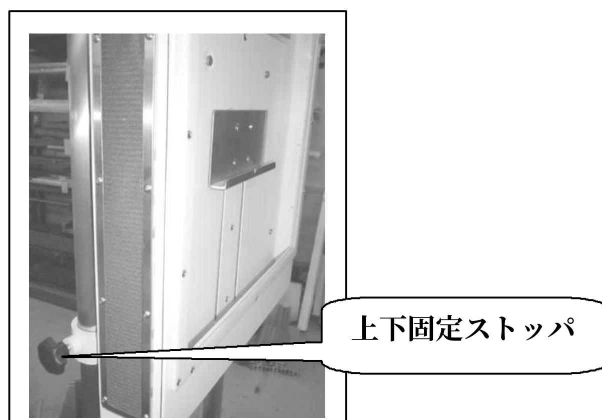


ご注意

（１）カセッテトレイの操作時は、必ず取っ手を持ちスキマに注意して操作を行って下さい。手や指を挟む恐れがあります。
（２）カセッテを着脱する時は、必ず両手で持ち確実に固定されている事を確認して下さい。カセッテを落下させる恐れがあります。
（３）カセッテの着脱時はカセッテ上部の中心位置を持ちカセッテ上部固定金具に指を挟まないよう注意してください。

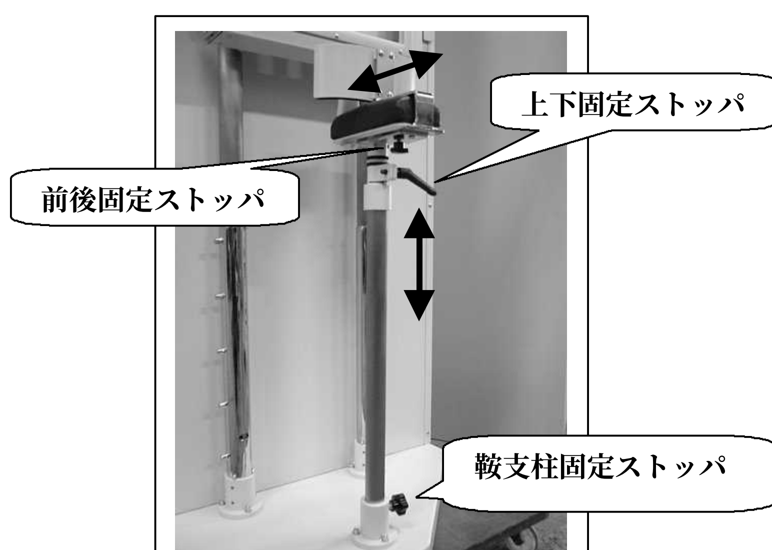
５．２受像部の上下移動（撮影部位による位置決め操作）

受像部の上下は受像部後ろ横にある左右のストッパを緩めて位置決めを行い、再度左右のストッパを締付け固定します。



５．３保持用鞍の取扱い

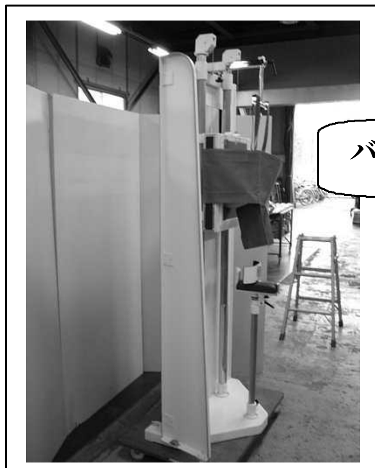
被験者を受像部の前に立たせる場合は、被験者の股を受ける保持用鞍（生殖腺防護付）に被験者をかけさせてください。
更に胸部の固定バンドでカセッテボックス両側面のマジックテープへ貼り付けて胸部を固定し、介助者は、防護板の裏に立って被験者の頭又は腕を持ち、動かないように介助してください。
上下位置を調整する場合は、鞍の下の上下固定ストッパを緩めて、位置を調整して上下固定ストッパにて固定します。
前後位置を調整する場合は、鞍下に付いている前後固定ストッパを緩めて、前後動を行い、再度前後固定ストッパを締付けます。

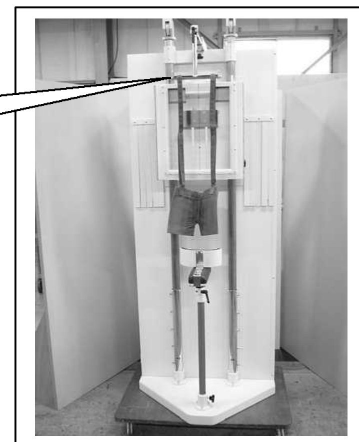


4

５．４　乳児を吊下げて撮影する場合

乳児をバンド吊りハンガーに吊下げて撮影する場合は、下図の様に、付属の吊下げ着衣を乳児に着せてハンガーに吊るして下さい。
カセッテを装着し、吊るした後、固定バンドをカセッテボックス両側面のマジックテープに貼り付けてください。
介助者は防護板の裏に立って被験者の頭、又は腕を持って動かないように介助してください。
この場合、保持鞍で軽く保持、又は側面撮影兼保護板で被験者の足を軽く支えてください。

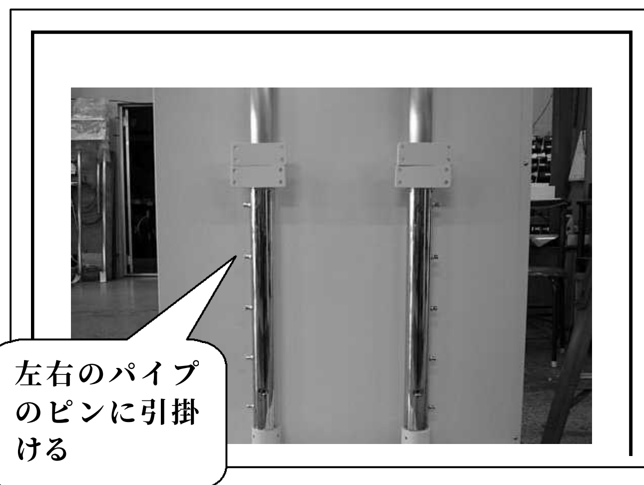




５．５　側面撮影用兼保護板について

側面撮影用兼保護板は側面撮影時に被験者を横に寝かせて撮影します。
又は、吊下げ着衣の準備用ベット、吊下げ着衣使用時の落下安全保護板として使用します。
尚、パイプ支柱の下側のピンに金具を引掛けて使用します。高さの加減はピンの位置を変更して調整します。





ご注意

（１）被検者の方、操作者の方は本体支柱部のレール、ワイヤーロープには触れないよう注意してください。衣服を汚したり、怪我をする恐れがあります。

６．保守点検ＳＡ－ＰＢ１

点検日付　／　／　担当者

日常点検項目

	点検項目	方法	詳細	確認
1	異音、異臭の有無	確認	異音の確認	
2	外観（キズ、破損）	目視	傷が無い事・塗装のはがれ等確認	
3	他の機器との干渉無きこと	目視	干渉する物を除去	
4	固定ネジに緩みが無いこと	目視	受像部の上下動が確実に固定できること	
5	ワイヤーロープの確認	目視	ネジレや素線切れが無いこと	
6	受像部上下動の動作確認	動作確認	カセッテの装着、固定が確実に出きること	
7	受像部上下動の固定確認	動作確認	ﾄﾚｲ引き出し固定及び移動動作がスムースに動くこと	
8	含鉛ガラスの傷、汚れ	目視	化粧板のﾋﾋﾞを確認、深さ1mm以上の傷が無い事	
9	ｶｾｯﾃ固定金具の動作確認	動作確認	X線装置と連動して5秒以上振動するのを確認	
10	ﾄﾚｲ引き出しの動作確認	動作確認	ｶｾｯﾃﾎﾙﾀﾞｰ、補助分銅の装着が確実なこと	
11	前面化粧板の傷、汚れ	目視	安全グリップ等部品が確実に固定されるか	
12	付属品の装着、固定確認	動作確認	装着がスムースで固定が確実に行なえること	
13	補助板の安全性確認	動作確認	装着がスムースで固定ピンに確実に掛かっていること	
14				
15				

定期点検項目

日常点検に付加して行う

	点検項目	周期	詳細	確認
1	支柱パイプの垂直度確認	1年	水準器にて１／１００以下（スペサーで調整）	
2	装置の各固定ネジの確認	1年	増し締め	
3	受像部上下動の動作確認	1年	４０Ｎ以下、（プシュプルゲージを使用）	
4	受像部上下動の固定確認	1年	１５０Ｎ以上、ｽﾄｯﾊﾟｰの調整	
5	X線の入射角度の確認	1年	鏡又はスケールにて確認	
6	ワイヤーにネジレやヒゲが無いこと	1年	ネジレやﾋゲが出ている場合は交換	
7	表示シールの確認	1年	PLシール等の剥れや内容が確実に見える事	
8				

日常点検表　　（SA－PB1）

		点検項目	方法	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
始業点検	1	異音、異臭の有無	確認																															
	2	外観（キズ、破損）	目視																															
	3	他の機器との干渉無きこと	目視																															
	4	固定ネジに緩みが無いこと	目視																															
	5	ワイヤーロープの確認	目視																															
	6	受像部上下動の動作確認	動作確認																															
	7	受像部上下動の固定確認	動作確認																															
	8	含鉛ガラスの傷、汚れ	目視																															
	9	ｶｾｯﾃ固定金具の動作確認	動作確認																															
	10	トレイ引き出しの動作確認	動作確認																															
	11	前面化粧板の傷、汚れ	目視																															
	12	付属品の装着、固定確認	動作確認																															
	13	補助板の安全性確認	荷重確認																															
	14																																	
	15																																	
	16																																	
終業点検	1	撮影室、操作室の整理整頓	確認																															
	2	撮影台の清掃	確認																															
	3	翌日の準備	確認																															
	4	補助具・備品のチェック	確認																															
備考		特に気が付いた点を記入（点検者名）																																

SA-ＰＢ１据付品質チェックシート

設置先名		据付年月日	２０　／　／
設置先住所		設置担当者	

	製品名	製造ＮＯ
Ｘ線装置		
撮影台	ＳＡ－ＰＢ１	
Ｘ線管		
多重絞り		
Ｘ線管保持装置		

	内容	据付者の確認
1	本体基台のアンカー止め	
2	本体支柱の垂直度　１／１００以下	
3	入射角度調整	
4	受像部にカセッテの装着	
5	付属品の装着	

お客様確認欄

	取扱い説明書の確認	ページ
1	取扱い説明書　安全の項目	
2	取扱い説明書　保守点検項目	

説明を受けた年月日	説明を受けられた方の所属	お名前（署名）
２０　／　／		
２０　／　／		
２０　／　／		